

ほっとまむ+動物病院

～膝蓋骨脱臼について～

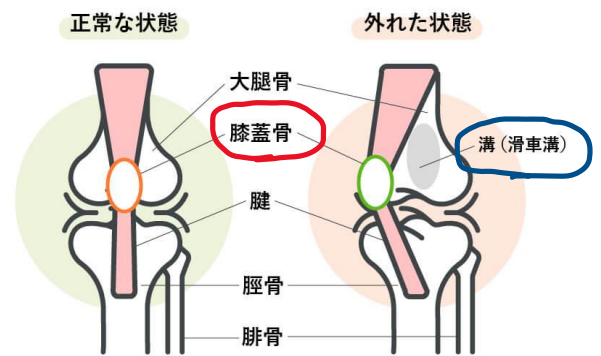
膝蓋骨脱臼とは、膝蓋骨が正常な位置から内側または外側に外れてしまう状態のことです。

膝蓋骨は膝のお皿と呼ばれている骨で、正常であれば足の付け根から膝までの太ももである大腿骨にある溝(滑車溝)にはまっています。

しかし本来あるべき溝(滑車溝)からずれてしまうことで、膝関節がうまく伸ばせず体重がかかれなくなり、歩き方に異常が出てしまいます。

膝蓋骨脱臼は小型犬に多く、膝蓋骨の脱臼の程度によって4つのグレードに分類されます。

年齢や症状、グレードによっては外科的な手術を行う場合もありますので、かかりつけの病院までご相談ください。



～膝蓋骨脱臼の程度～

<グレード1>

普段は溝にはまっている状態ですが、手で押すと膝蓋骨が脱臼してしまう状態。

<グレード2>

普段は溝にはまっている状態ですが、後ろ足を曲げたときに頻繁に脱臼する状態。

<グレード3>

膝蓋骨が外れて常に脱臼した状態。手で押すと一時的に溝に戻る。

<グレード4>

膝蓋骨が溝から外れて常に脱臼した状態。手で押しても元の位置には戻すことが出来ない。

～症状～

- ・足をあげたまま歩く、引きずる
- ・スキップのような走り方をする
- ・散歩に行くのを嫌がるようになる
- ・抱っこや触ろうとすると突然痛がって「キャン」と鳴く

～膝蓋骨脱臼になりやすい犬種～

トイプードル/ポメラニアン/ヨークシャーテリア/チワワ/マルチーズ等

小型犬に多いので要注意！

